



WPCF & FAPGA出張報告2016

2016年11月22日

(一社)日本印刷産業連合会
常務理事 杉村 亥一郎
広報部部長 石橋 邦夫

2016 WPCF in Korea

・2016年の世界印刷会議(World Print & Communication Forum)は、2005年に南アフリカのケープタウンで開催された大会以来の大規模なもので、参加国は30か国から、170名を数えた。この開催には韓国の文化体育観光部(Ministry of Culture, Sports and Tourism)がスポンサーとなっている。(注: 文化体育観光部は文化・芸術・映像・広告・出版・刊行物・体育・観光に関する業務を管掌する日本の省に相当する組織。)

- ・開催期間: 2016年8月30日(火)~9月2日(金)
 - 8/30(火) 開会式・晩餐会
 - 8/31(水) K-Print開会式、カンファレンス
 - 9/1(木) Samsung Innovation Museum
Cheongju Early Printing Museum視察
 - 9/2(金) Paju Book City視察

・WPCF加盟の印刷連合会としては以下が参加。

- 米国 Printing Industries of America(議長国)
- 欧州 Intergraf
- ブラジル Brazilian Printing Industry Association
- 香港 The Hong Kong Printers Association
- 中国 Printing Technology Association of China
- インド All India Federation of Master Printers
- 豪州 Printing Industries Association of Australia
- 韓国 Korean Printers Association(開催国)
- 日本 日本印刷産業連合会



次回WPCFは2017年6月にデンマークコペンハーゲンで開催予定。

開会式・晩餐会 8月30日

- ・開会式及び晩餐会には約400名の参加者が集まり盛大に開催された。
- ・「2016Hello Mr. K」と命名されたGlobal K-Culture Concertが開催された。韓国政府が後押しをしている文化・芸能の海外進出の熱意を感じさせる内容であった。
- ・コンサートの後に参加国の代表のスピーチ及び公演が行われた。





조희정

백준우



생동감 크루



광개토 사물놀이



CLC

<HELLO, Mr. K>의 홈페이지(www.hellomrk.kr)를 신속히 방문하시면 무료로, 365일
 24시간 영상을 통해 다들 기대하고 있답니다.

Check out <HELLO, Mr. K>'s website at www.hellomrk.kr for videos and
 photos of the performance on social media

PROGRAM

생동감 크루 Saengdonggam Crew
 ▶ LED 댄스 퍼포먼스 LED Dance Performance

박윤우 기타 solo Park Youn-woo
 조혜정 피콜로 Harpichord Cho Hye-Ijung
 ▶ 아리랑 Arirang, 리베르탱고 Libertango

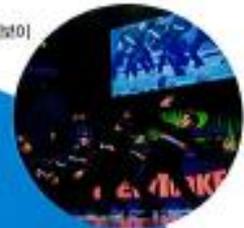
V.O.S
 ▶ 곱상하다 Uh-oh, Beautiful life

CLC
 ▶ 하나 둘 셋 One Two Three, 아미 No Oh Oh

광개토 사물놀이 Gwanggaeto Samulnori &
 마룻바닥 비보이 Merutbadak B-boy Crew
 ▶ 길놀이 Gilnori, 무인양무 무인양 Movement Korea

보이즈 Tera's
 ▶ 미야가미 Mityang Arirang, 인도아리랑 Indo Arirang
 재림길 Gae Teryung, 쾌자-치음의 Quejnachingching

K-타이거즈 K-Tigers
 ▶ K-Tigers Live Show Performance



마룻바닥 비보이



K-타이거즈



보이즈



V.O.S

K-Print 8月31日

- ・韓国の印刷機材展で、8月31日から9月3日までの期間で開催された。今回はパッケージ、ラベル、デジタル印刷も含めた展示会となっていたが、drupaの直後でもあり、大手のベンダーの出展が少なかった。
- ・大手で出展していたのはスクリーン、コニカミノルタ、エプソン、Roland、ホリゾン、Duplo、Riso、Dominoなど。スクリーンのブースは出展社の中でも大きいもので、Scodixなどの展示も行っていた。HPは代理店が出品しており、DesignJetやLatexなどが中心となっていた。
- ・全体的にラベル関連の出展が多かった。デジタル印刷、間欠レタープレス、フレキソなどは実機を展示している企業も何社かあった。その中では三起機械は間欠レタープレス印刷機を大規模なブースで出展していた。
- ・中国のベンダーも多く見受けられ、韓国においてもそれなりのプレゼンスを確立している事を感じさせた。
- ・韓国企業ではDilli社がフラットベッドUVプリンターやラベルプリンターを出展しているのが目立っていた。





スクリーン



コニカミノルタ



エプソン



ローランド



ホリゾン



三起



中国印刷機材ベンダーの出展



韓国のDilli社 デジタルラベル印刷機、UVフラットベッドプリンターなどを出展

WPCF2016 Conference 8月31日

13:30-14:00	世界の印刷業界の将来動向	SeanSmyth/Pira
14:00-14:30	韓国経済と印刷文化産業	HaklaeLee/ソウル大教授
14:30-15:00	中国印刷市場の将来	JianminZhang/PEIAC
15:00-15:30	欧州印刷市場の将来	HavardGrjotheim/07Media
16:00-16:30	枚葉印刷のデジタルへの進化	JochenBender/ハイデルベル
16:30-17:00	印刷技術の人材育成策	AlexanderTsyganeko/PrintMediaAcademy
17:00-17:30	ITを活用した新しい印刷技術トレンド	Hyukesokwon/Sungwonadpia



Cheongju Early Printing Museum(清州古印刷博物館) 9月1日

- ・ソウルから約120kmほど南に位置する清州市にある博物館で、木版印刷から金属活字に至るまでの韓国における印刷文化を紹介している。
- ・韓国ではグーテンベルグに先立って金属活字を実現したことにプライドを持っており、博物館では充実した展示とともに金属活字鑄造の実演も行っていた。
- ・日本の印刷博物館とは15年以上の交流を行っている。

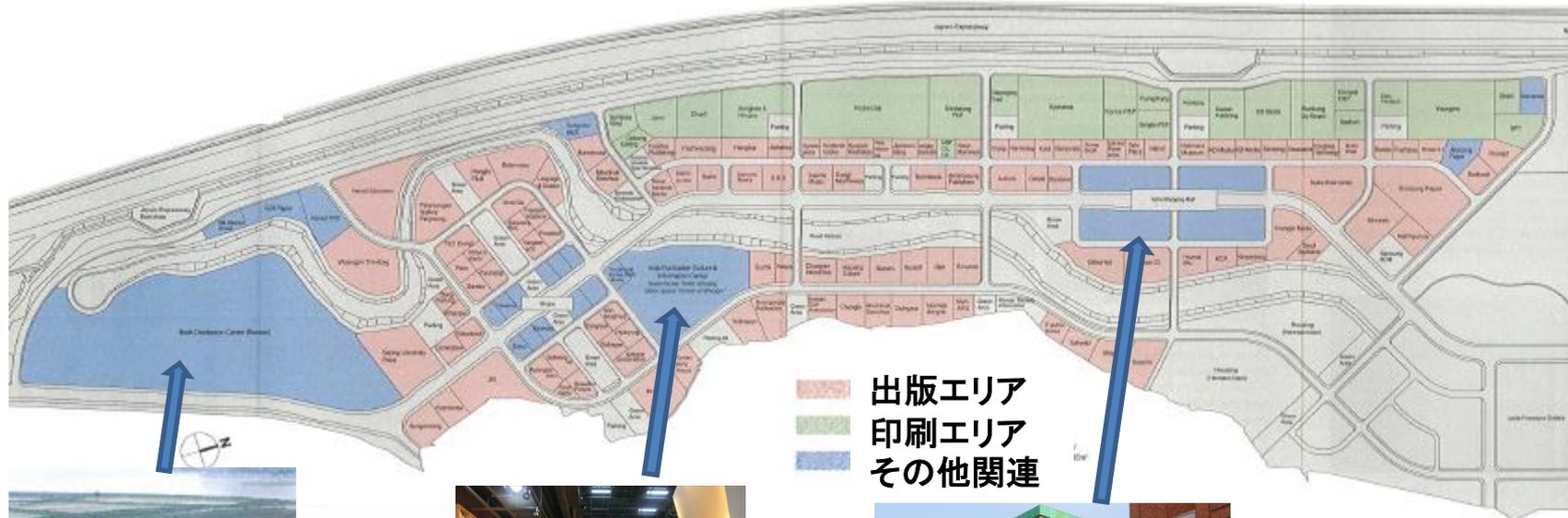


印刷博物館(日本)と清州古印刷博物館との交流活動

- ・2000年の印刷博物館の設立準備にあたり、朝鮮の金属活字文化の展示に関する学術調査、資料の複製等で協力をいただく。
- ・2004年に相互協力協約書の締結を行い、姉妹提携を結ぶ。この協約に基づき、複製資料の寄贈、図録や研究論文の交換、両館の館長や学芸員が相互訪問するなど人的・学術交流を継続して行っている。
- ・2008年、2012年に清州市で開催された『直指(じきし)』フェスティバルや印刷関連国際会議に招待され、印刷博物館の学芸員が、日本の活字印刷についての研究発表を行った。
- ・2014年に印刷博物館において、韓国清州古印刷博物館姉妹提携10周年記念「朝鮮金属活字文化の誕生」展を開催。オープニングを記念して、清州古印刷博物館の館長、研究員を招待し、講演会とシンポジウムを開催。
- ・2016年9月に清州市(古印刷博物館)主催の印刷博物館国際会議が開催。

Paju Book City (坡州(パジュ)出版都市)1 9月2日

ソウルから30Kmほど北に位置する坡州に設立された出版と関連のある企業が集まった国家文化産業団地。1998年の工事開始以来、48万坪の敷地に300社以上の企業が進出しており、本を企画・編集する段階から印刷・製本し、流通までの過程を全てここ1ヶ所で行うことができる。最近では出版だけではなく、映像関係の企業の誘致を進めておりコンテンツ産業の拠点化を目指している。



物流センター(取次)



アジア出版文化情報センター

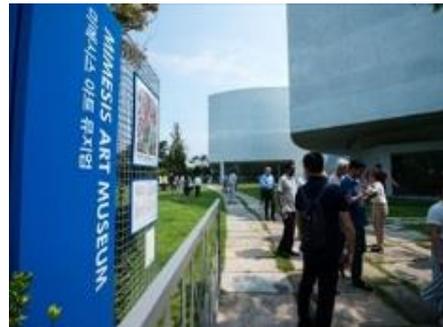


ショッピングセンター



Paju Book City (坡州(パジュ)出版都市)2 9月2日

街の設計には「人間性を回復するための都市」というテーマのもと、世界中の建築家がそれぞれの社屋を設計しており、自然と調和する建築の美しさにも定評がある。



アジア出版文化情報センター

パジュの中心的施設で、出版にまつわるイベントや展示を行うだけでなく、カフェやレストラン、図書館、古本屋なども運営。



韓国の書店 8月30日

- ・書店最大手の**教保文庫光化門店**を視察。ここは1981年に開業した韓国初の大型書店で2010年にリニューアルして、未来志向の書店を目指している。売場面積の約2600坪。
- ・インターネットの普及により韓国でも書店が大幅に減少しているといわれているが、平日にもかかわらず多くの人でにぎわっていた。教保文庫は大手保険会社「教保」がオーナーで、社会貢献的な意味合いで営業されている面もあると思われる。



2016 FAPGA in Shanghai

・アジアの印刷連合会の会合であるFAPGA (Forum of Asia Pacific Graphic Arts) は、昨年はマレーシアのクアラルンプール、今年は中国の上海で開催された。来年2017年は5月にオーストラリアのメルボルンで開催される予定。

- ・今年の会合に参加したのは以下の連合会。
 - マレーシア Malaysia Printers Association
 - フィリピン Philippine Printing Technical Foundation
 - 中国 Printing Technology Association of China
 - インド All India Federation of Master Printers
 - 豪州 Printing Industries Association of Australia (議長国)
 - 日本 日本印刷産業連合会

- ・開催期間 10月16日(日)―19日(水)
 - 10月16日 FAPGA理事会
 - 10月17日 カンファレンス
 - 10月18日 All-in-Print China (印刷機材展) 開会式、視察
 - 10月19日 Shanghai Publication & Printing College及び印刷博物館視察



・過去のFAPGA(FAGAT)開催時期と場所

- | | |
|------------------|---|
| • September 1996 | 1 st FAGAT General Meeting in Tokyo, Japan |
| • October 1997 | 2 nd FAGAT General Meeting in Korea |
| • October 1998 | 3 rd FAGAT General Meeting in Bangkok, Thailand |
| • October 1999 | 4 th FAGAT General Meeting in Beijing, China |
| • September 2000 | 5 th FAGAT General Meeting in Manila, Philippine |
| • November 2002 | 6 th FAGAT General Meeting in Singapore |
| • March 2004 | 7 th FAGAT General Meeting in Kuala Lumpur, Malaysia |
| • August 2006 | 8 th FAGAT General Meeting in Colombo, Sri Lanka |
| • June 2007 | 9 th FAGAT General Meeting in Beijing, China |
| • September 2008 | 10 th FAGAT General Meeting in Manila, Philippine |
| • October 2009 | 11 th FAGAT General Meeting in Tokyo, Japan |
| • May 2011 | 12 th FAGAT General Meeting in Sydney, Australia |
| • February 2013 | 13 th FAPGA General Meeting in New Delhi, India |
| • November 2014 | 14 th FAPGA General Meeting in Shanghai, China |
| • August 2015 | 15 th FAPGA General Meeting in Kuala Lumpur, Penang Malaysia |

・FAPGA理事会 10月16日

各国の印刷産業の状況報告
 特定課題、テーマに関する討議
 次期開催国の検討



・FAPGA Conference 10月17日
 Jielong Centerにて300名以上が参加。
 各国代表からの発表、
 米国印刷機材団体NPES、HP、中国印刷会
 社Artron、中国機材ベンダーMasterworks、
 印刷インターネット通販Esay Printからの発
 表があった。
 日本は「日本の印刷業界の環境への取組」
 を報告。



Global Printing Summit Forum 2016 & The 16th Forum of Asia Pacific Graphic Arts

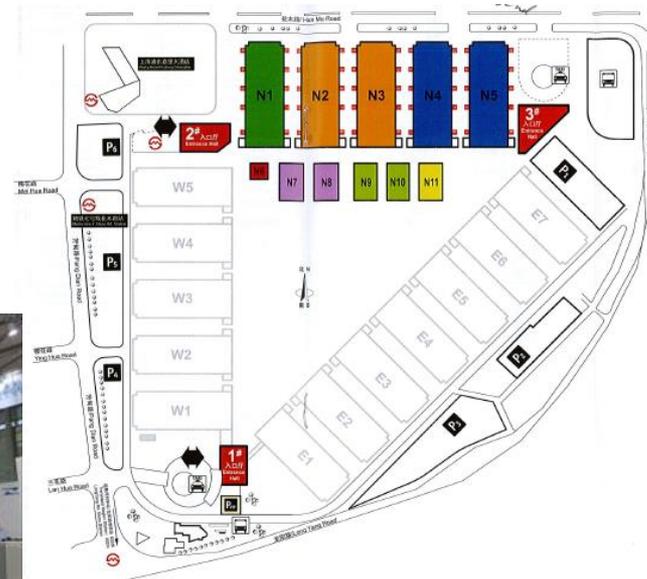
Host : Mr. Chen Yan Vice Chairman and Secretary-general of the Printing Technology Association of China, Chairman of Beijing Keyin Media & Culture Co., Ltd.

Speaking Time	Speaker	Position	Title
9:00-9:10 Introduction to Guests			
9:10-9:20	Mr. Yan Xiaohong	Deputy director of State Administration of Press, Publication, Radio, Film and Television of the People's Republic of China	Welcoming speech
9:20-9:30	Mr. Peter Shepherdson Lane	Chairman of Forum of Asia Pacific Graphic Arts	FAPGA opening remarks
9:30-10:00	Ms. Wang Yanbin	Director of Printing and Issuing Department of State Administration of Press, Publication, Radio, Film and Television of The People's Republic of China, and Chairman of The Printing Technology Association of China	China's printing industry report
10:00-10:20	Mr. Wasser Thayer Long, Jr	President of the Association for Suppliers of Printing Publishing and Converting Technologies	Foresight of global printing and packaging market
10:20-10:50	Mr. Chu Tingfang	President of China Academy of Printing Technology, and Executive Director of The Printing Technology Association of China	Discover the future of printing - Pan Printing
10:50-11:20	Mr. Andrew Macaulay	CEO of Printing Industries Association of Australia	Australian Printing Industry Economic Trends & Environmental Initiatives
11:20-11:30	Mr. Wen Jie	Chairman of Artron Art Group, and Vice President of The Printing Technology Association of China	Discover the future of printing - Green, Smart, Innovation, Internet
11:50-12:00 Presenting thanks-giving medal to speaking guests			
12:00-14:00 Luncheon break			
14:00-14:30	Ms. Winnie Hung	Strategic Development Director Strategy and Business Management HP Indigo Division HP Inc.	Digital Printing - Keep Reinventing with New Elements
14:30-15:00	Mr. Manoj Mehta	President of Export Promotion Committee in All India Federation of Master Printers	Printing & Network, assist the rise of emerging market in printing
15:00-15:30	Mr. Kunio Ishibashi	General Manager of Public Relations in JFPI (Japan Federation of Printing Industries)	The Greenized Practice of Japanese printing industry
15:30-16:00 Tea break			
16:00-16:30	Mr. Liaw Chee Khong	Director of Malaysia Printers Association (MPA)	Malaysia country report
16:30-17:00	Ms. Li Li	Chairman of Masterwork Machinery Co., Ltd.	Smart manufacturing opens a new era of Post-press
17:00-17:30	Ms. May Cheung	Chairman and CEO of Esay Print	Discover the future of printing-Internet printing
17:30-17:40 Presenting thanks-giving medal to speaking guests			

・All-in-Print China 2016 10月18日

Shanghai New International Exhibition Center
 において10月18日から22日まで開催された大規模
 印刷機材展。

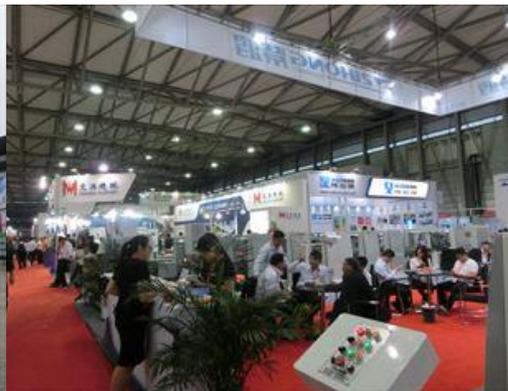
8万m²の展示スペースに724社が出展し、来場者
 数は76,818人で、前回と比べると24%増。
 次回は2018年開催予定。



上海新国际博览中心 (SNIEC)

第六届中国国际全印展
 展览场地平面图
 All in Print China 2016
 Plan of the fairground

- 印刷/数码
Printing and Digital
- 印刷设备
Printing Equipment
- 包装及后设备
Packaging and Post-press
- 标签设备
Label Equipment
- 3D打印/印刷耗材
3D Printing / Printing Consumables
- 印刷创意
Print Creativity
- 企业馆
Enterprise Pavilion



Shanghai Publication & Printing College(上海出版印刷高等专科学校) 及び上海印刷博物館 10月19日

- ・Shanghai Publication & Printing Collegeは1953年に上海市と中華人民共和国新闻出版总署によって設立された3年制職業学校で、出版及び印刷関係の教育を行う学校としては最初のもの。出版・印刷分野での中心的な人材を輩出してきている。
 - ・学生数は約5000名、分野としては「印刷及びパッケージ技術」、「出版及び文化管理」、「アートデザイン・映画・テレビ・アニメ」の3分野がある。
 - 「印刷及びパッケージ技術」分野は1学年600名で、そのうちの200名が印刷学科。
 - ・米国RIT(ロチェスター工科大学)を始めとし、英国、ロシア、ドイツ、フィンランド、フランス、カナダ、シンガポールなどの大学とも提携しており、海外からも学生を受け入れているほか、在学学生も海外に研修に行く者が多い。
 - ・国際化を目指し、英語ができる学生が多いとのことであった。
- また教員も英語ができる人材がいるほか、国際関係のスタッフとして英語に堪能な人材がおり、組織的に国際化をサポートしている。

上海出版印刷高等专科学校
SHANGHAI PUBLISHING AND PRINTING COLLEGE



・National Training Center (SPPC内)は中国における印刷部門の技能五輪強化組織になっている。2013年に銅メダル、2015年には銀メダルを獲得している。校内にはハイデル、小森、北人(Beiren)といった印刷機のほかIndigo、コニカミノルタ、Océ、エプソンラベルプリンターなどのデジタル印刷機、フンケラーやホリゾンの後加工機等も用意されており、設備の充実には目を見張るものがある。



ハイデル



小森



Beiren



Epson



コニカミノルタbizhub



Océ VarioPrint 6160



Canon C6000



HP Indigo 5500

・上海印刷博物館

SPPC内には上海印刷博物館が設置されており、印刷の歴史を説明する各種の資料や展示が行われている。



エントランス



印刷の伝播に関する展示



活字の展示

中国特有の印刷を
紹介する展示室



All-in-Print China 2016の概要

- ・今年 drupa の年のため前回の2014年と比べると大手の出展が少なかった。
- ・オフセット印刷機分野では、ハイデル、KBAは出展せず、小森、man roland や中国大手印刷機メーカー Beiren (北人) もパネル展示のみ。
- ・一方ローカルベンダーはかなり積極的に出展しており、印刷機の実機の展示も数多く見られた。またラベル印刷機も各種のメーカーから製品が出展されていた。
- ・デジタル印刷分野では、リコー、コニカミノルタ、スクリーン、富士フイル/富士ゼロックスは出品したものの、キヤノン、HP、コダックなどの出展はなかった。また KM-1 などの最新機器の出展はなく、最近ほどの展示会でも見られるデジタルプレスと後加工機の連動も見られなかった。
- ・中国ではオフセット印刷機やCTP、インクなど各製品分野で数多くのメーカーが存在しており、価格帯や販売地域、性能などの面で棲み分けをしており、ある種の階層構造が出来上がっているように思われる。
- ・その中から、中国だけでなく世界的なメーカーに成長してきている会社も出てきている。ハイデルと後加工機分野で提携した Master Works、シノハラを買収しオフセット印刷機やレーザーカッター分野で海外に進出している Hans Gronhi、CTP 分野で実績のある Cron などが代表的な企業。
- ・中国の印刷市場の70%はパッケージ関係ということで、一般の展示会ではあまり見ることのない製函機や製袋機、段ボールの加工機などが数多く見られた。
- ・印刷機材の販売でもネット通販が盛んになっている。乱立気味で、機材メーカーにとってみると価格混乱のもとになる一面もあるという。



小森



北人 (Beiren)



Shinohara 92 Series
by HANS-GRONHI



man roland

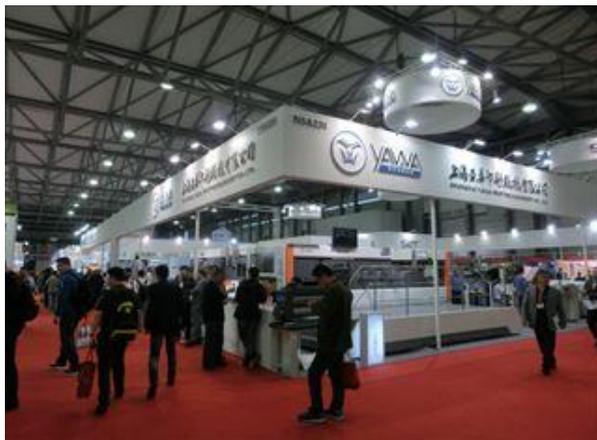
印刷機分野:

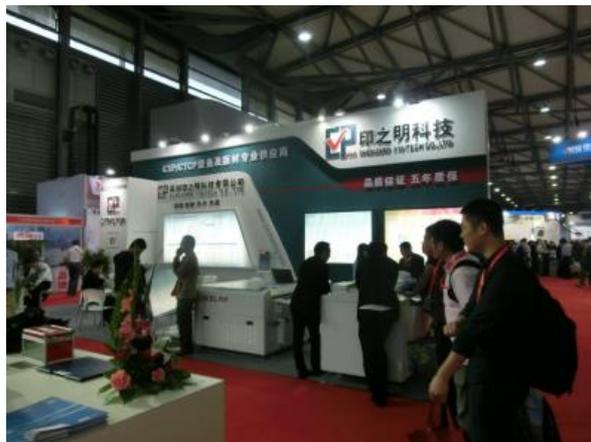
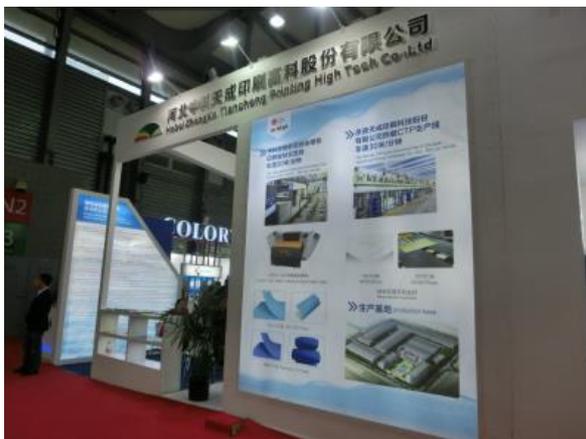
印刷機分野の出展は前回のAIP2014と比べると大幅に縮小していた。

- ・小森、man roland、北人 (Beiren)といった大手もパネル展示のみで、ブースも縮小している。
- ・ハイデル、KBA、リョービMHIは出展なし。
- ・上海電気は2015年にGossをアメリカン・インダストリアル・パートナーズ(AIP)に売却しており、今回は出展なし
- ・Hans Gronhi(シノハラ)は実機を出展したが、メインはレーザーカッター

印刷機分野2:

ローカルベンダーはかなり積極的に出展しており、実機の展示も数多く見られた。





CTP関連の出展社は10社以上を数えた

中国の機材メーカーでグローバルプレーヤーに成長してきている会社も出てきている。



シノハラを買収しオフセット印刷機やレーザーカッター分野で海外に進出している Hans Gronhi、

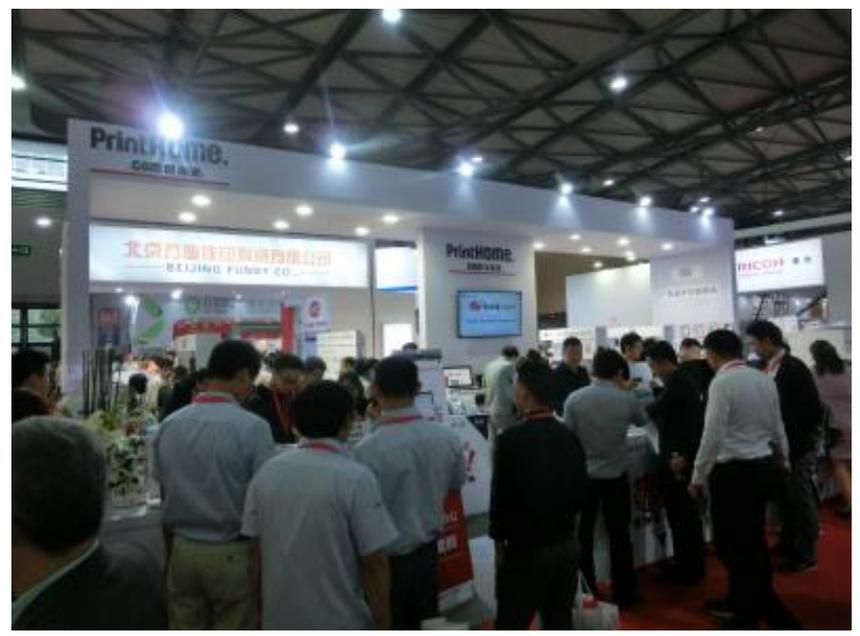


ハイデルと後加工機分野で提携した Master Works



CTP分野で実績のある Cron

印刷機材のネット通販



Global Opportunities in Packaging

THAYER LONG, NPES

パッケージ市場の概要:

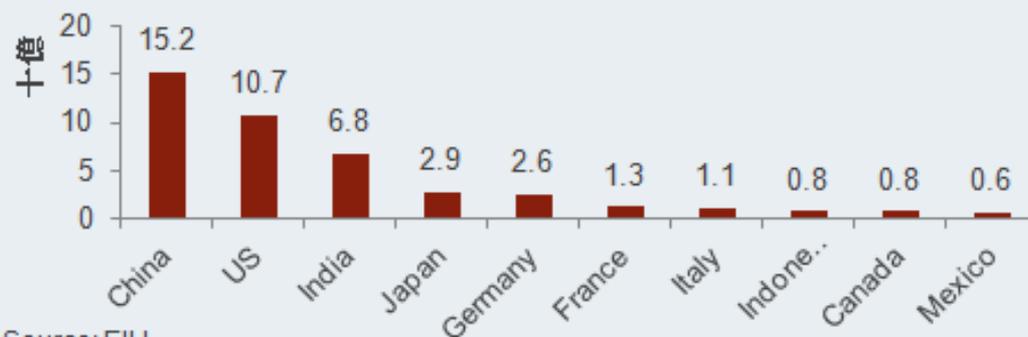
- ・パッケージ分野の世界市場は2011－2015年の年平均成長率は5.3%、2016－2020年は5.2%と安定した成長が見込まれ、2020年には2860億ドルになる。
- ・先進国は着実な成長を続けるが、新興国、特にアジアではインド、インドネシア、ベトナム、アフリカではナイジェリアの成長が見込まれる。
- ・パッケージ市場の構成(2015年)
 段ボール 36.2% 軟包装 25.0% 紙器 20.3% ラベル・タグ 11.8%
 その他 6.7%
- ・主要パッケージ市場(2015年)
 米国 \$760億 中国 \$690億 日本 \$160億 ドイツ \$150億 インド \$120億
 上位5か国で市場の78%を占める



パッケージ市場の今後の見通し:

- ・経済成長、中産階級の増加、都市化等によりパッケージ需要は継続的に伸びる。
- ・この中で新興国市場は2011年の33%か2020年には41%に成長する。
新興国の平均成長率は6.0%で、これは先進国の2.6%に比べ倍以上高い。
- ・上位5か国への集中は2011年の74%から2020年には79%に進む。
- ・2016－2020年にかけての成長はアジアの諸国が中心となり、その中でもインドやインドネシアは人口デモグラフィが有利な状況が続くことが後押しをし、ベトナムは中国から製造業が移管されてくることがプラスに働くとみられる。
- ・2015から2020年の間における増加額で見ると、中国が\$152億、米国\$107億、インド\$68億、日本\$29億、ドイツ\$26億
- ・2016－2020年の製品分野ごとの成長率で見ると一番高いのは軟包装で5.6%(新興国7.6%、先進国2.8%)、ラベル/タグが5.2%でそれに続く。

Dollar growth in print packaging market
from 2015 to 2020

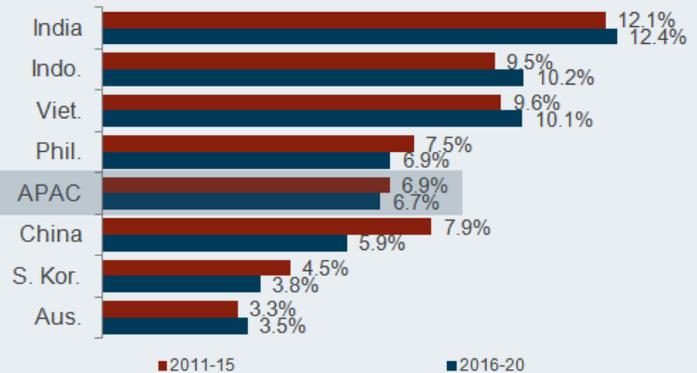


Source: EIU.

アジアパシフィック地域の展望:

- ・この地域は世界市場の42%を占め、成長率でも2016－2020年で6.7%が見込まれる。
- ・2016－2020年の成長率トップ10の内5か国がこの地域で、インドがそのトップを占める。
- ・中国における人件費の高騰と成長の鈍化から、東南アジアが世界の工場の役割を徐々に担うことになる
- ・懸念事項としては中国や日本のような主要国における負債の増加と金融のサイクル(浮き沈み)が成長にリスクをもたらせる。

Asia-Pacific growth by country

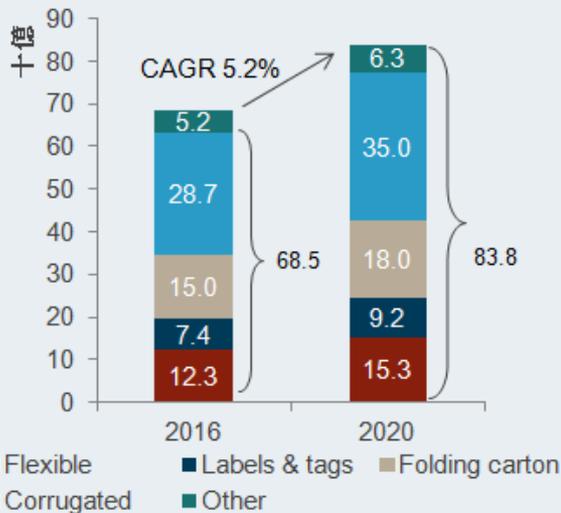


Note: Figures presented are cumulative annual growth rates for each country in local currency terms. Region growth is the average cumulative annual growth rates of the countries in the region.
Source: FII

中国市場:

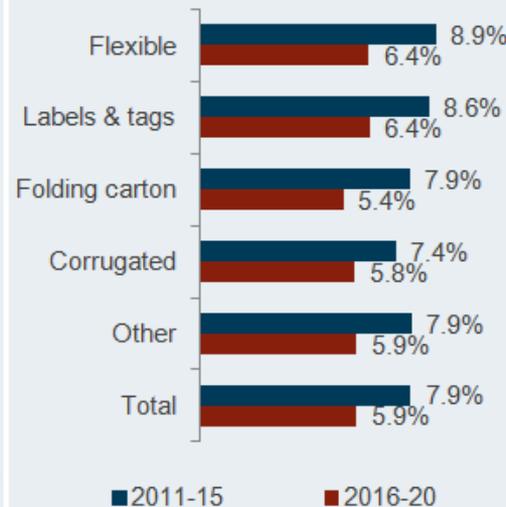
- ・現在第2位の市場で2020年には米国との差もかなり縮まる
- ・2011－2015年には平均成長率7.9%を達成し、2016－2020年は5.9%程度が見込まれている。(ほぼGDPの成長率程度)
- ・段ボール市場は世界最大で2016年に\$290億ドルが2020年には\$350億ドルと見込まれる。
- ・中産階級の増加が引き続き消費者市場をけん引するが、製造業が一部東南アジアに移管されることから、その分市場が減退する。玩具では紙器や軟包装、衣類ではラベルやタグ、エレクトロニクス製品では段ボールの需要が影響を受ける。
- ・個人消費が経済の一番の牽引役で、パッケージ分野に関してはまだ見通しは明るい。

Print packaging market by segments



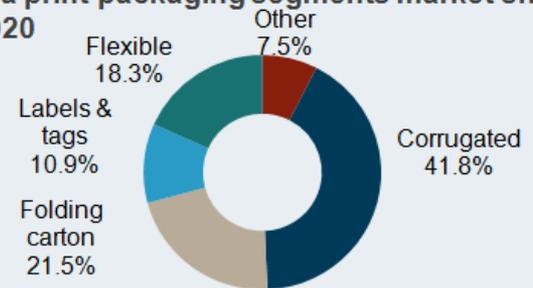
Note: Compound annual growth rate in US dollar terms.

Segment growth



Note: Figures presented are compound annual growth rates in local currency terms.

China print packaging segments market share in 2020



Source: EIU.

中国市場2:

- ・市場規模は大きいですが、中国のパッケージ業界の設備は古いものが多く、世界市場の要求に対応できなくなってくる。(特に段ボールの分野で)
- ・紙器の分野の設備はもっと新しいものになっている。これは玩具やエレクトロニクス機器は先進国市場への輸出が多いため。また紙器は高級品(贅沢品)やタバコなどの需要が多く、高級品に関しては今後とも需要が伸びるが、タバコは減少が見込まれる。
- ・中国は世界最大のeコマース市場で、これは段ボールの市場を伸ばしている。2015年にeコマースは個人消費の12.9%を占めているが、依然成長を続けている。(2016年の1-5月で、対前年比25%増)
- ・中間層はまだ増加しており、世帯収入で1.5万ドルを超える世帯は2016年の1.15億世帯から2020年の1.7億世帯へと増加する。

中国市場3

分野ごとの2016-2020年の成長見通し:

ラベル・タグ分野: 2016-2020年 平均成長率 6.4%

パーソナルケアやホームケア製品の多くが軟包装からPETボトルに移行し、それによってラベル・タグの需要が伸びる。一方、衣類やテキスタイルなどの製品製造が東南アジアに移管されると、ラベル・タグの需要にマイナスの影響が出る。

軟包装分野: 6.4%

他の新興国と比べ軟包装の比率は低い。今後の5年間で省資源と輸送コストのメリットなどの理由により紙器から軟包装にシフトするメーカーが増えることが見込まれる。

段ボール分野: 5.8%

輸出が多いために段ボール市場は世界最大規模。サプライヤーは4-6,000社あるといわれており、非常に細分化されている。

市場は安定的な成長が見込まれる。(製造が海外に移管されるマイナスはあるが、eコマースなどの成長のプラス要因があるので)

紙器分野: 5.4%

紙器は贅沢品やタバコに用いられ、これらは大きな市場であった。収入の増加から贅沢品は継続して伸びるが、タバコは厳しい局面を迎える。健康意識の高い消費者増加により、1995年以来初めてタバコの需要の減少が生まれた。

韓国印刷産業の展望

ソウル国立大学 Hak Lae Lee教授

韓国の印刷産業の概要(2014年)

会社数: 18,523社 (日本27,026社)

従業員数: 72,712人 (同306,833人)

出荷額: 83億ドル(約8,300億円) (同55,450億円)

10名以上の企業の占める割合

会社数: 1,170社/6.3% (日本22.4%)

従業員数: 27,654人/38% (同78.3%)

出荷額: 37億ドル(約3,700億円)/44.6% (同91.5%)

1社当たりの平均出荷額:

320万ドル(3.2億円) (同8.3億円)

参考: 2014年のGDP

韓国 1.41兆ドル

日本 4.60兆ドル

Annual Gross Sales



■ Less than 10 employees
■ More than 10 employees

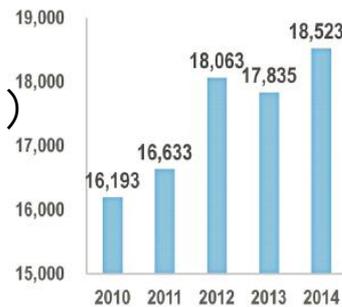
Gross sales/yr : 8.3 B\$

Gross sales of companies with 10+ employees: 3.7 B\$

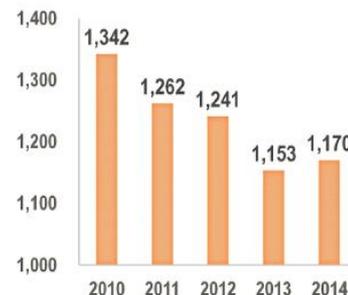
Average annual gross sales per company with 10+ employees: 3.2M \$

Number of printing companies in Korea

Total printing companies

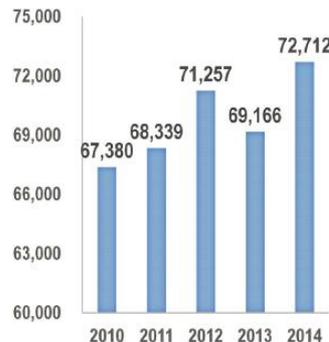


Printing Companies w/ 10+ employees

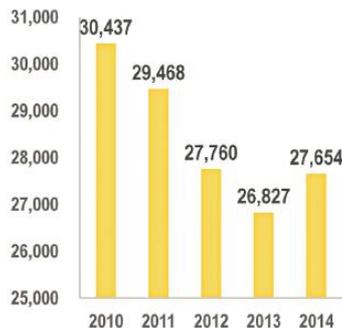


Number of employees

Total printing companies



Printing Companies w/ 10+ employees



韓国の印刷産業の輸出への取組

韓国の連合会KPAによるバックアップ

- ・Print Export Support Centerの開設
- ・世界の主要なブックフェア(ロンドン、フランクフルト、東京など)への出展により韓国の印刷産業を紹介。

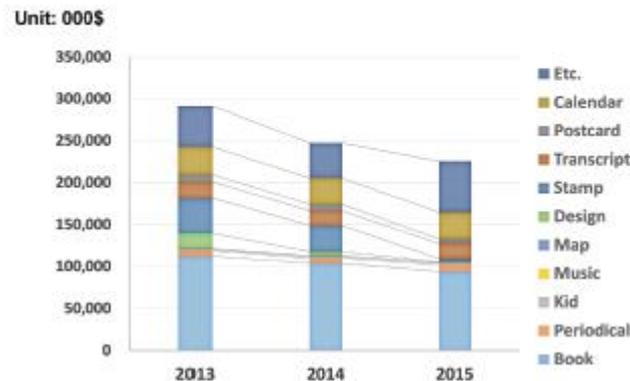
韓国印刷産業の輸出状況

- ・輸出金額は2013年の2.91億ドルから2015年の2.23億ドルへと減少
- ・品目的には書籍関係が一番多く、カレンダーがそれに続く。(2015年)
2013年には書籍に続いて多かった切手が2015年には急減している。
- ・輸出先は、米国31.6%、日本14.9%、サウジアラビア9.5%、中国3.7%、インド3.0%

Current status of export/import



Printing exports



韓国印刷産業の特徴

1. 市場動向

- ・情報メディア系(書籍、新聞、カタログ、パンフレットなど)は減少
段ボール、軟包装、ラベルなどは増加
- ・需要減少による競争の激化(設備の過剰、価格ダンピング、設備更新によるコストアップ、資金繰りの問題)

2. パーソナライズがトレンド

- ・大量生産から小ロット生産へ
- ・パーソナライズ化、カスタム化の進展
- ・BtoBからBtoC
- ・POD、フォトブック、出版物におけるバージョンニング
- ・多様な後加工
- ・多様な素材の利用
- ・品質の標準化進展とエコを配慮した印刷
- ・短納期

2. Trends toward customization



- Mass production vs. small quantity batch production
- Customization / personalization



- From B2B to B2C
- Digital POD, photo-book, versioning publication

2. Trends toward customization



- Diverse post-processing
- Application of various materials
- Quality standardization and eco-friendly print



- Short term delivery

韓国印刷産業の特徴2

3. アナログとデジタルの融合

- ・オフセットとデジタルのハイブリッド
- ・輪転とインクジェットの統合
- ・IT活用による世界最高の効率化
- ・W2P

4. 成功事例

- ・IT活用による優れたW2Pの成功
- ・豊富なテンプレート提供によるフォトブックでの成功
- ・商業印刷からパッケージ印刷への転換
- ・オフセットからグラビア/フレキソへの転換
- ・グラビアからオフセット/フレキソへの転換
- ・企画提案サービスによる積極的なマーケティング
- ・オフセットとデジタルによるハイブリッド化

3. Combination of analog and digital



- Hybrid of offset & digital
- Digital inkjet rotary press
- The world's best efficiency through convergence with IT
- Web-to-print



4. Success stories



- Perfect web-to-print service through convergence with IT



- Success of photobook companies offering various templates

4. Success Stories



- Successful conversion from commercial printing to package printing
- From offset to graure/flexo
- From gravure to offset/flexo



- Active marketing with new service of planning and sales
- Hybridization of offset and digital

韓国印刷産業の将来展望

1. 韓国印刷産業のSWOT分析

- ・Strength（強み）
 - ITインフラ、設備、技術
- ・Weakness（弱み）
 - 多くの小規模印刷会社、海外ビジネスの専門家不足
- ・Opportunity（機会）
 - 先進国と比べて低コスト、すぐれた設備と人材
- ・Threat（脅威）
 - 人口成長の低下、高齢化

1. SWOT of Korean printing industry



韓国印刷産業の将来展望2

2. 変化と革新への挑戦

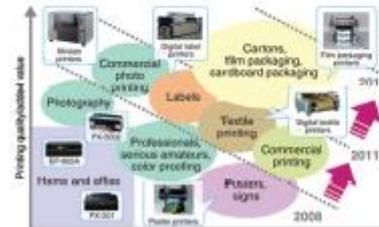
- ・小ロット生産
- ・準備時間の短縮
- ・パーソナライズ化
- ・オフセットとデジタルで利用できる材料
- ・ワークフローへの投資によりプロセスの最適化と自動化の推進
- ・自動化により固定費の削減
- ・スピード、品質、多機能を備えたワークフロー
- ・インクジェットのアプリケーション
- ・デジタル印刷によるラベル作成と後加工
- ・ワンソース・マルチユース
- ・スマートメディア
- ・クライアントの要望に応じたソリューションとサービスの提供

2. Challenge for change and innovation



- ・ Small quantity batch production
- ・ Shortened time to prepare or convert
- ・ Personalization and customization
- ・ Offset and digital applicable materials
- ・ Process optimization, automation through investment in workflow
- ・ Fixed cost reduction by automation
- ・ Speed, quality, multi-functional workflow

2. Challenge for change and innovation



- ・ Inkjet application
- ・ Digital label and post-processing
- ・ OSMU (One Source Multi Use)
- ・ Smart media
- ・ Solution and service based on client's request

韓国印刷産業の将来展望3

3. 将来ビジョン

・ターゲット

- ニッチ市場と新規市場
- 高付加価値と公正な競争
- 少量生産とパーソナライズ化
- 産業アプリケーション・機能性印刷 (RFID、QR Code、AR、printed electronics)
- ITとエレクトロニクスの統合
- クロスメディア/W2P

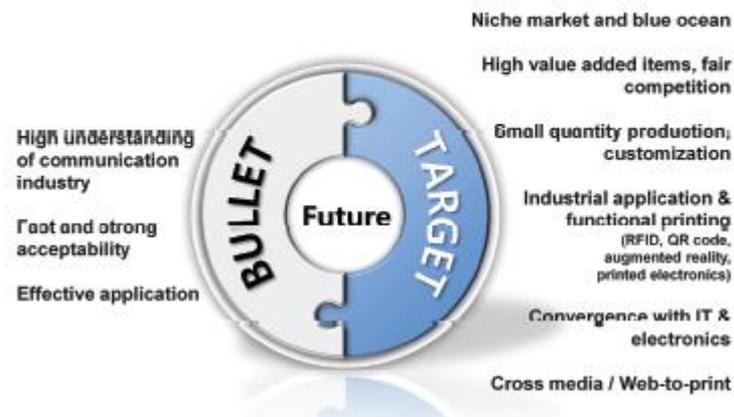
・弾薬

- コミュニケーション産業に対する深い理解
- 素早く強力な受容性
- 効果的なアプリケーション

- ・産学協業による輸出、企画、マーケティングの専門家育成
- ・エコフレンドリーな印刷及び品質基準、カラーマネージメント
- ・企画やマーケティングを含めた活性化した産業への努力

世界最良の製品とサービス

3. Vision of the future



3. Vision of the future



The Future of Chinese Print Market

JianminZhang, Vice General Secretary PEIAC

中国印刷産業の概要(2013年の数字)

企業数: 6.7万社 (内EADS 6%、4,266社)

出荷額: 8,338億元 (同63%) 約13.3兆円(1元=16円)

従業員数: 195万人 (同47%)

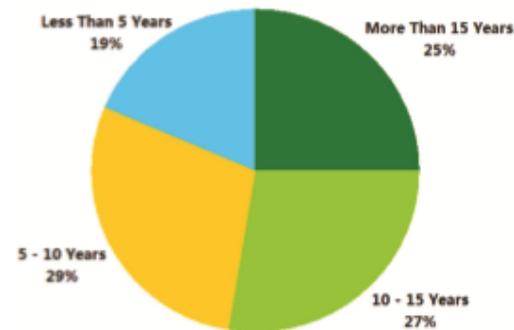
EADS (Enterprise Above Designated Size)は2000万元以上の売上規模のある会社。

中国印刷業界の特徴

- ・パッケージに偏重した市場: パッケージ75%、出版15%、商印10%
- ・国内市場中心: EADSの出荷額の7%が輸出で、それ以外は国内市場向け
- ・まだ若い業界: 75%以上が2000年以降に設立された会社
- ・生産性向上の余地がまだ高い:

従業員1人当たりの売上 42万元(672万円)

EADS 65万元 (1040万円)

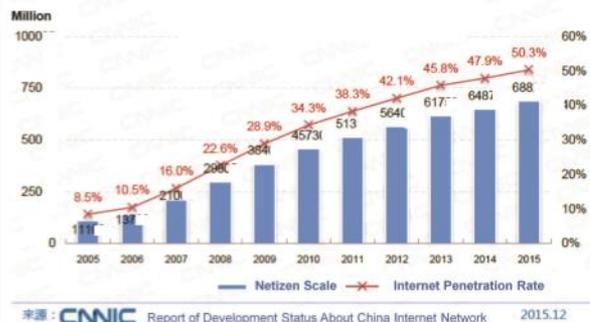


中国印刷市場の動向

- ・印刷市場の成長鈍化が始まったが、市場はまだ縮小に転じてはいない
2015年のEADSの売上は7192億元(11.5兆円)に達し、成長率は8%であった。
印刷資材の市場も同様な傾向を示し、2015年のインク消費量は70万トン、成長率3%、CTPは3.85億m²で成長率4%
- ・労働コストは継続して上昇 (2005-2013年の年平均13%増)
- ・インターネットの普及(50.3%)とネチズン(6.88億人)の増加
- ・2015年よりVOC排出税が省ごとに開始され、10以上の省で既に導入されている。

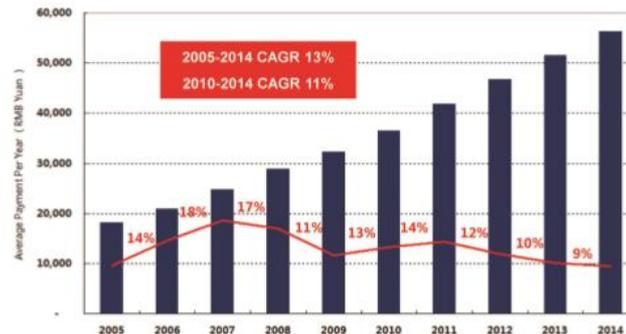
インターネット普及率とネチズンの数

Evaluation of Future Business Environment of China's Print Market
Netizen Scale and Internet Penetration rate



人件費の推移

Evaluation of Future Business Environment of China's Print Market
Increasing Labor Cost



中国印刷業界の展望

・変革の時代

- 規模の拡大から効率の向上
- ボリューム拡大から品質の向上
- なんでも取り込むから、独自の特徴を生かす
- 生産志向から、サービス志向
- 自前主義からwin-winの協力体制

・出版印刷

- 新聞は継続的に減少するが、書籍・雑誌・教科書などは横ばいから微増
- この分野のEADS780社は、さらに統合されていく
- 大部数に関してはオフセットが引き続き中心となるが、1000部以下ではPODの活用も進みつつある

・パッケージ/ラベル印刷

- この分野は継続して成長が見込まれる
- 食品・飲料・物流関係の段ボール、軟包装、ラベル印刷は継続的に増加
- 紙器は横ばいか、微増
- 医療、健康食品、ワイン、食品、飲料分野向けの偽造防止製品の増加

中国印刷業界の展望2

商業印刷分野

- 中国で最もアクティブで有望な市場分野
- 計画経済から市場経済へまだ転換中で、ブランド構築や販促、顧客リレーションの構築などに関してはラーニングステージ
- Print ProducerからMarketing Service Providerへの変革が更なるビジネスチャンスを広げる
- 出版印刷から商業印刷への移行が進む
- クイックプリンターと従来型の印刷会社の協力が進む
- B2B/B2Cなどのインターネットプラットフォームが市場統合に重要な役割を果たす

Profile of Ink Consumption	2011	2012	2013	2014	2015
Offset Printing	45%	44%	43%	43%	42%
Gravure printing	37%	34%	37%	40%	40%
Flexo Printing	12%	12%	11%	10%	11%
Screen Printing	1%	1%	1%	1%	1%
Digital Printing	1%	1%	1%	1%	1%
Others	4%	8%	7%	5%	5%
Annual Consumption (1,000 Tons)	575	615	644	672	700

★ Estimated Data based on the industrial information

印刷技術の動向

- インクの使用量から見た動向では2011年から2015年でオフセットは45%から42%に減少し、グラビアは37%から40%に増加。

デジタル印刷の動向

- 商印分野の小ロット印刷/PODが最も増加し出版の小ロット、パッケージのバーコードや可変印刷が続く

	Major Application	Trend
Publication Printing	Short Runs	
Package Printing	Bar Code 2D Code & VDP	
Label Printing	Short Runs 2D Code & VDP	
Commercial Printing	Short Runs POD	

インドの印刷産業

インドの印刷産業概要(2012年)

企業数: 17.5万社
従業員数: 250万人

インドの持つ成長ポテンシャル

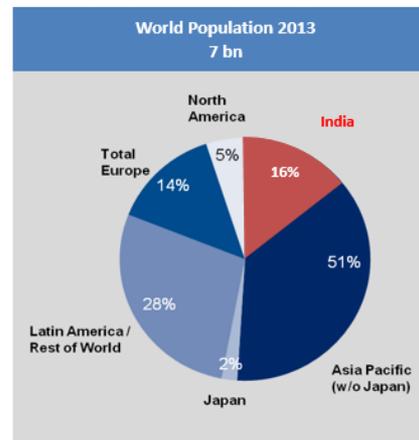
- ・豊富な労働人口
2050年においても65歳以上は14.8%
(日本は36.4%)
- ・人口に対してパッケージ分野の
出荷額がまだ著しく低い。
人口は世界の16%に対して、パッケージ
の出荷額は0.7%
- ・印刷機に対する投資はまだ活発
2015年に枚葉オフセット印刷機が
新台 460台、中古 2,535台設置

TABLE 2 PERCENTAGE OF AGED POPULATION (65+), 1950-2050:
INTERNATIONAL COMPARISON

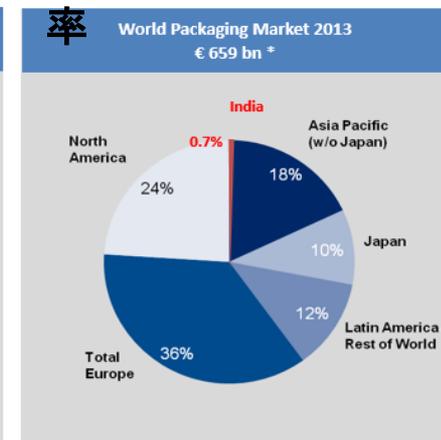
	Percentage of Aged Population (Dependency Ratio of the Aged)				
	1950	1975	2000	2025	2050
China	4.5 (7.2)	4.4 (7.8)	6.9 (10.0)	13.2 (19.4)	22.7 (37.2)
India	3.3 (5.8)	3.8 (6.8)	5.0 (8.1)	8.3 (12.1)	14.8 (22.6)
Viet Nam	4.2 (6.6)	4.9 (9.3)	5.3 (8.7)	8.1 (11.9)	17.1 (27.1)
Germany	9.7 (14.5)	14.8 (23.3)	16.4 (24.1)	24.6 (39.0)	31.0 (54.7)
Japan	4.9 (8.3)	7.9 (11.6)	17.2 (25.2)	28.9 (49.0)	36.4 (71.3)
Korea	3.0 (5.5)	3.6 (6.2)	7.1 (9.8)	16.9 (25.1)	27.4 (48.8)
Hong Kong	2.5 (3.7)	5.4 (8.4)	10.6 (14.5)	20.0 (30.1)	29.2 (51.3)
Singapore	2.4 (4.2)	4.1 (6.5)	7.2 (10.2)	21.5 (33.4)	28.6 (49.8)

Source: Population Division, DESA, United Nations: World Population Ageing 1950-2050.

人口の比率



パッケージ出荷額比率



Source: PIRA International
*Adjusted for price changes and currency fluctuations - Base year 2009
(No details for Flexible Paper | Market Volume approx. € 23 bn)

印刷機市場

- ・オフ枚葉印刷機では新台では小森、ハイデル、リョービが強く、中古機では小森、ハイデル、KBAが多い。

インキ市場

- ・インドの印機市場は2002/3年から2014/15年にかけて約3倍に増加。
- ・インキベンダーは外資系が占めている。元は現地ベンダーであったMicro社は、現在はドイツのhubergroupの一員。Seigwerkもドイツの会社。Flintはルクセンブルグを拠点とする多国籍企業。その他は日系のDIC、サカタ、東洋インク。

SHEET FED INSTALLATIONS IN 2015

Manufacturer	Used Machinery	Brand New
Heidelberg	728	124
Komori	845	168
KBA	476	44
Mitsubishi	268	12
Sakurai	14	0
Adast	48	0
Ryobi	132	108
Manroland	24	4
Total	2535	460

Source: RK Anayath and Print Week India (noel), Komori (Sangam Khanna)

INDIAN INK MARKET SIZE

Growth of ink industry in past decade (インキ市場規模)

2002/03	Rs 1000-1200 crore (162-195億円)
2014/15	Rs 3500-3800 crore (568-617億円)

Major Players (主要ベンダー)

Micro	Rs 1000-1200 crore (162-195億円)
Dic	Rs 900-1000 crore (146-162)
Sakata	Rs 400-450 crore (65-73)
Seigwerk	Rs 300-340 crore (49-55)
Flint	Rs 250-275 crore (41-45)
Toyo	Rs 150-170 crore (24-28)
Others	Rs 500-600 crore (81-97)

インドの製紙メーカー：
生産ボリュームおよび出荷額によるランキング。

出荷額

INDIAN PULP AND PAPER INDUSTRY- TURNOVER		
Sr. No.	Company	Turnover(Rs. Crore)
1	Ballarpur Industries Limited (BILT)	4854.81 (約788億円)
2	ITC Limited- PSPD	4504.37 (731)
3	Tamil Nadu Newsprint and Papers Limited (TNPL)	1881.18 (305)
4	JK Paper Limited	1721.38 (279)
5	The West Coast Paper Mills Limited	1499.07 (244)
6	The Andhra Pradesh Paper Mills Limited	1291.64 (209)
7	Century Pulp And Paper	1282 (208)
8	Rainbow Papers Limited	900.05 (146)
9	Seshasayee Paper & Boards Limited	880.77 (143)
10	Trident Limited	724.8 (117)

Crore=1000万ルピー=約1624万円

生産ボリューム

INDIAN PULP AND PAPER INDUSTRY- INSTALLED CAPACITY AS OF 2014-15		
Sr. No.	Company	Installed Capacity of Paper (MT)
1	Ballarpur Industries Limited (BILT)	969,568
2	ITC Limited- PSPD	550,000
3	JK Paper Limited	455,000
4	Century Pulp And Paper	413,810
5	Tamil Nadu Newsprint and Papers Limited (TNPL)	400,000
6	The West Coast Paper Mills Limited	320,000
7	Rainbow Papers Limited	305,000
8	Murli Industries Limited	248,200
9	The Andhra Pradesh Paper Mills Limited	241,000
10	Seshasayee Paper & Boards Limited	175,000
11	Trident Limited	175,000

ご清聴ありがとうございました